

妻ヶ丘中学校だより

令和7年2月26日 校長 深江 祐史

「立志の集い」が行われました

2月14日(金)午後からMJホールで、令和6年度第2学年「立志の集い」が行われました。当日の校長挨拶の抜粋を掲載します。

本日、ここに立志を迎えられた182名の2年生の皆さん、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

さて、この後、皆さんの決意が「漢字一文字」で発表されると聞いています。その生徒が「どんな文字を選んだのか、とても興味深いところです。もしかすると同じ文字を選んだ仲間もいるかもしれませんが、たぶんその字を選んだ理由が全く同じであることはないと思います。それはそうでしょう、今、ここには182名の2年生がいますが、同じ人間は誰一人いないのですから。皆さんは、一人一人違う人格をもった人間です。今回、大事だったのは「自分の頭で考えた」ということです。

人によっては、一文字がすぐに浮かんで、さらさらっと簡単に書けたかもしれません。人によっては、かなり時間をかけて考えたかもしれません。でも、その時にきつと、「ああ自分の中には、こんな思いがあるんだ」と普段あまり意識しない「自分の中にある思いや考え」に気付くことが出来たのではないのでしょうか。だから、この後の発表は、どうぞ、堂々と自信を持って、あなたの思いを発表してください。とても楽しみにしています。「私はこう思う」です。

さて、先日、県立高校の推薦入試がありました。ある高校では、面接で、こんなお題がでたようです。「情報化していく中で、あなたが大切だと思うことは何ですか?1分30秒でこの内容について考え、1分程度で発表してください」全く、同じ文言だったかどうかはわかりませんが、これに近いお題だったとその高校を受検した3年生は言っています。

情報化社会で大切だと思うこと?お題を聞いて驚いた受験生もいたと思いますが、逃げるわけにはいきません。その場でこれまで自分が見聞きしたこと、学んだことを振り返って、それこそ「自分の頭」で考えて乗り切ったことと思います。その高校は、その生徒が、これからの世の中をどうとらえているのか?そして、自分の頭で考えて、それを的確に相手に伝えることができるか、その力を見なかったのではないかと私は思っています。

「自立」「感謝」「貢献」。いつも皆さんにお願いしている3つのことですが、まずは、「自分の頭」で考えることがスタートです。どうぞこの「立志の集い」を機にもういちど、自分のことを振り返ってください。「自分はどうなりたいと思っているのか?」「何がしたいと思っているのか?」

その時に忘れないでほしいのは「自分の良さ(長所)」に、ぜひ気づいてほしいということです。そして、それをその「自分のよさ」をあなた自身が信じることです。

本日は、このあと、講演も予定されています。演題は「～人生に「失敗」はない～」です。

思わずうれしくなりました。皆さん、三学期の始業式で私が紹介した言葉、覚えていますか?「皿を割れ」そして「人生に失敗がないと人生に失敗する」でした。今の皆さん方にとって、「失敗」というワードは、「失敗」の意味を知ること、とても重要なことのようにですね。井本様から、どんな話が聞けるのか、今からわくわくします。しっかり話を聞いて、そしてこれからに生かしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお忙しい中、ご臨席いただき、誠にありがとうございます。2年生とは、11月末一緒に修学旅行に行かせて頂きました。とても明るく元気な、優しいそして頼もしい学年だと思います。最後の解散式、寒い霧島サービスエリアの広場で私は2年生に対して言いました。「いい修学旅行だった。よくやった。もう3年生は受験に集中させるぞ、いいよな。あとは君たちの番だ。妻ヶ丘中をたのむぞ!」その時の2年生の表情はとても良いものでした。

あと1ヶ月半で3年生になりますが、校長としては、今から来年度が楽しみです。きっと今まで以上に、妻ヶ丘中学校の伝統を守ると同時に、新しい風を吹き込んでくれるものと確信しております。

それでは、本日の「立志の集い」を機に、各ご家庭でこれから先のことについて「大人どうし」の話が盛り上がることを期待して、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

このあと、生徒は一人ずつステージ上で自分の「一文字」を紹介しました。落ち着いた口調で、力強い大きな声で、それぞれの生徒の個性あふれる見事な発表でした。

さらに、2年生を代表して、鶴田 蓮 さんが「生徒の誓い」を述べました。

立志を迎えて。私は中学二年生、14歳。立志を迎えます。私はまだまだ幼稚なので、初めて立志という言葉聞いたとき、かしこまってしまいました。しかし、中学校生活も中間地点を過ぎ、将来に向けて自分自身と向き合い、様々な決断をしていかなくてはなりません。

私は、これまでの中学校生活でいろいろなことに挑戦してきました。校長先生が「血を割れ」とおっしゃっていました。失敗を恐れず、たくさんのことに挑戦しなさいということです。私はこの言葉を聞いて、今までの失敗をプラスに変えることができるようになりました。私たち生徒は、この「血を割れ」という言葉を胸にたくさん挑戦し、たくさん失敗して様々な経験をしていきます。

ところで、私の将来の夢は航空宇宙工学に貢献することです。そのためには、学習面や進学はもちろん、コミュニケーション能力や何より一つ一つのことを粘り強く、深く探求することが大切です。私は、良くも悪くも突拍子がなく、変なこだわりがあるので、それを自分の強みとして残りの中学校生活や高校生活で伸ばしていきたいです。

保護者の皆様へ。常日頃、私たちの中学校生活を一番近くで支えてくださりありがとうございます。お体に気をつけてお過ごしください。

立志を迎えて、自分の言動に責任を持つ意識が強くなったり、自分の将来について色々考えるようになりました。自分の将来の夢を実現するために今、できることをコツコツ頑張っていきます。そして、二学年全員でそれぞれの夢を実現するために切磋琢磨し合っていきましょう。

最後は(株)MANGO 人材採用担当の「井本 翔」(いもとしょう)氏による記念講演。井本氏の講演テーマは「人生に『失敗』はない」。ご自身のこれまでの経験と現在、採用担当として何を注視して人を見ているのか、これからの世の中を生きる生徒に対して「立志の集い」にピッタリのテーマでした。井本さま、熱いご講演ありがとうございました。



本校の生徒が表彰を受けました

2/25 妻ヶ丘地区公民館で表彰があり、本校の生徒が受賞しています。おめでとうございます!

妻ヶ丘地区まちづくり協議会・青少年育成協議会

【青少年意見発表】1年 藏元 瑛太

【善行児童生徒】3年 巢立 大海